

平成29・30年度 委員会成果報告会（第3回）

平成30年12月21日

於 横浜市技能文化会館



一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

■発表委員会

1. 広報情報委員会(常設委員会)
2. ブロック支部委員会(常設委員会)
 - 1) 景観・まちづくり専門委員会
 - 2) 青年交流専門委員会
3. 指導委員会(常設委員会)

■資料目次

- | | | |
|----------------------------------|-------|----|
| 1. 広報情報委員会(常設委員会) | | 1 |
| 2. ブロック支部委員会(常設委員会) | | 2 |
| 1) 景観・まちづくり専門委員会 | | |
| 2) 青年交流専門委員会 | | |
| 3. 指導委員会(常設委員会) | | 5 |
| 4. 総財務委員会(常設委員会) | | 6 |
| 5. 業務支援委員会(常設委員会) | | 7 |
| 1) 「住・緑・家」運営専門委員会 | | |
| 2) 木造専門委員会 | | |
| ○伝統工法部会 ○大型耐火木造部会 ○木造技術部会 | | |
| 3) マンション等の大規模修繕業務専門委員会 | | |
| 6. 企画委員会(常設委員会) | | 11 |
| 1) 未来に繋げる事業専門委員会 | | |
| 2) 技術専門委員会 | | |
| ○低炭素技術部会 ○設計新技術部会 ○補助金活用技術部会 | | |
| 3) 応急仮設住宅等検討専門委員会 | | |
| 7. 建築物耐震改修評価特別委員会 | | 16 |
| 1) 評価特別専門委員会 | | |
| 2) 非木造専門委員会 | | |

1. 開催日程

平成30年 5月10日(木)
平成30年 7月 5日(木)
平成30年 9月 6日(木)
平成30年11月 8日(木)

2. 活動内容

- ・会報「かながわ」の発行(奇数月)
- ・瓦版の発行(偶数月)
- ・HPの運営、管理

【目的】

- ・会員相互の親睦をはかり、会運営の方針、情報を周知
- ・業務の役に立つ情報の発信
- ・関係団体、行政に対する広報活動 … 会員以外に約170ヶ所に会報を配布

3. 検討事項

- ・会報「かながわ」の内容のマンネリ化
 - 委員が率先して 新しい切り口で記事を執筆
- 記事の確保(投稿数の激減)
 - 書きやすいしかけ(サブタイトルで 自由な発想へ)
- ・表紙写真の入手
 - ブロック毎に おすすめ風景、建物の写真をストック

★ 目的 ★

社会に対する建築士事務所の業務の啓発および会員に対する広報に関する事項並びに機関紙の編集・発行、ホームページの管理運営に関する事項

委員長 : 杉本 勝郎(相模原支部)	副委員長: 相原 聡(大和綾瀬支部)	
委員 : 雨森 隆子(横浜支部)	委員 : 赤川 真理(川崎支部)	委員 : 小山 将史(横須賀支部)
委員 : 田代 智子(藤沢支部)	委員 : 田中 敦史(平塚支部)	委員 : 仙波 弦(海老名支部)
委員 : 石川 勝彦(相模原支部)	委員 : 神尾 明美(県西支部)	

1. 委員会の開催

* 開催日程

平成30年 5月 23日
7月 24日 (横浜にて支部長合同ブロック支部委員会)
9月 25日
11月 27日

* 主な討議内容

新規開設「建築士事務所」講習会の企画、運営について
傘下の各専門委員会の活動状況の確認
・景観・まちづくり専門委員会
・青年交流専門委員会
地引網大会やスポーツ大会の実施について
地方公共団体への共同要望運動の実施等について
平成31年度予算要求案の検討について

2. 講習会の実施等

* 新規開設「建築士事務所」講習会の実施および運営

県内に登録された新規建築士事務所がその業務や経営にあたり基本となる事項、遵守すべき建築士法の規定やその趣旨に添った事項を具体的に解説すると共に、最近急増している建築紛争の事例も紹介するなど、新規開設の建築士事務所の開設者や管理建築士向けの講習

5月 23日 【第1回】 受講者: 10名
8月 28日 【第2回】 受講者: 16名
11月 27日 【第3回】 受講者: 6名

※【第4回】は、平成31年2月26日に開催予定。

* 建築士定期講習における講師担当

建築士法の規定により、建築士事務所に所属する建築士が3年毎に受講することが義務付けられている建築士定期講習において、『設計及び工事監理に関する科目』の講師を担当

平成30年 5月 21日 【第1期 1回目】 会場: 横浜市技能文化会館
6月 28日 【第1期 2回目】 会場: 神奈川県民ホール
平成31年 2月 28日 【第4期 3回目】 会場: 横浜市技能文化会館
3月 20日 【第4期 4回目】 会場: 横浜市技能文化会館

3. 運営協力事業(会員親睦事業)

* 第9回 神事協「地引網」大会

平成30年 6月 9日
片瀬西浜にて地引網大会を開催 参加者: 210名

* 秋のスポーツ大会

平成30年 10月 20日
江の島周辺にてスポーツ大会(ウォーキング) 参加者: 89名

4. 今後の検討事項

ブロック及び支部の交流促進を図ることを目的に、支部長・副支部長を対象にした意見交換会等の開催について検討して行きたい。

★ 目的 ★

本会と会員との連携、ブロック及び支部の地域に密着する活動の活性化、会員増強への取り組み、会員相互の親睦及び地域との交流に関する事項

委員長 : 谷田 康司(座間支部)	副委員長: 梅原 義信(横浜支部)	副委員長: 矢後 孝昭(愛川支部)
委員 : 坂本 昌巳(横浜支部)	委員 : 柏木 健司(川崎支部)	委員 : 平野 武洋(横須賀支部)
委員 : 森安 啓司(鎌倉支部)	委員 : 新倉 良一(平塚支部)	委員 : 神田 暁(大和綾瀬支部)
委員 : 寺本 勉(相模原支部)	委員 : 長谷川 匡(県西支部)	

【景観・まちづくり専門委員会】

景観・まちづくり専門委員会は景観整備機構の指定を目指しています。

平成30年8月
相模原市景観整備機構団体に指定されました



既に指定を受けている埼玉、茨城、大阪、千葉の建築士事務所協会との連携を図りながら、県内各景観行政団体からの指定に向けて協働事業や景観資源調査等を実施しています。また、日事連における全国の単位会との連携を図りながら、まちづくりへの取り組みを行なっています。

景観整備機構とは

景観整備機構とは、景観法第92条に基づき、市民の方々を含めた民間団体による自発的な景観の保全・整備の一層の推進を図るため、一定の景観に関する知識や保全・整備能力を有する公益法人、または特定非営利活動法人(NPO)について、景観行政団体がこれを指定し、景観形成を担う主体として位置付ける団体のことです。

◇昨今のおもな活動◇

- ・相模原市景観整備機構第1号指定
- ・神奈川県建築安全協会助成採択事業「安全なみち空間景観資源利活用調査事業」の実施
- ・伊勢原市都市総務課との協働事業「景観ビュースポットマップ」の実施
- ・伊勢原市 商業のまちづくり協議会 まちなみ環境整備部会「伊勢原市北口再整備における提言書」策定への協力／アドバイザー
- ・湯河原町採択委託事業
「景観資源調査業務(湯河原町河川と温泉櫓景観資源調査)」の実施
- ・藤沢市「街なみ景観フォーラム ひとを呼ぶ景観MITAMEの力」共催

ほか多数

★ 目的 ★

県内の各種団体が行うまちづくりに関する業務の支援、(一社)神奈川県建築士事務所協会の支部及び会員が行うまちづくりに関する業務の支援、並びにこれに準ずる業務(以下「景観・まちづくり業務等」という。)についての調査、研究、会員の専門的知識の向上を図り、もって建築文化の発展に寄与することを目的とする。

委員長 : 寺本 勉(相模原支部)	副委員長:大沢 匠(鎌倉支部)	副委員長:須山 愛(川崎支部)
副委員長:小笠原 修司(藤沢支部)	副委員長:岡崎 秀祐(鎌倉支部)	委員 : 平山 正義(横浜支部)
委員 : 根岸 光司(横浜支部)	委員 : 廿日出 頼秀(横浜支部)	委員 : 小島 紀雄(湘南三浦支部)
委員 : 藤岡 裕(藤沢支部)	委員 : 岩間 幸司(藤沢支部)	委員 : 大西 智子(平塚支部)
委員 : 三橋 要(伊勢原支部)	委員 : 稲葉 勉(県西支部)	

【青年交流専門委員会】

目的：(一社)神奈川県建築士事務所協会の青年に該当する会員・所員・賛助会員に参加してもらい、委員会活動を活発にする事で、協会への参加意義を見出してもらうと共に、積極的に横の繋がりをもち、共通意識を向上させて次世代の活動へ繋げていく。

「魅力のある委員会活動・やりたいことを楽しくやっていれば若い人たちは寄ってくる」

1.移動委員会の設置

神事協8ブロックの各活動拠点において委員会を開催し、開催ブロックの青年該当者等を加えてエリアごとの特色を知り、意見交換を行う。また、出席者の積極的な交流を行う。

2.各種勉強会の企画運営

青年会員等の考えている欲しい情報や技術向上に役立つ講習、事務所運営スキル向上のための研修会を青年会員等から意見を挙げてもらって企画し、開催する。

3.建築士事務所の認知向上に関する活動

これからの建築取得者層に向けた設計事務所認知向上のため設計事務所アピールを行う。大学・専門学校に対する交流活動を行い、魅力を伝え、仕事への選択肢の一環ととらえてもらえるようにする。

具体的な活動内容

(1)「既存の建物をリノベーション」するワークショップについて

設計主旨やその建築の由来、その価値などを読み解き、継承していくことを前提とし、建築物を建築士事務所集団として実際に出来るリノベーション計画とコスト提示まで行ってみようという企画。現在、建物選定が終わり次回より具体的なプランを作成する。

(2)「神事協のぼり」作成について

「神事協」のぼりデザイン公募を行うことで会員のスキルによる魅力あるのぼりを作ると共に、のぼり＝神事協ブランドを会員が理解し周知・営業活動に役立ててもらえることを目的とする。

優秀作品

コンセプト：人が建物を建てる その建物に人が集い、人の生活の器になる
人と建物はセットである そんな人と建物をつなぐ神事協

受賞者：建築総合企画 ジーボックス一級建築士事務所 代表 横山尊重 氏

(3)職業体験(受け入れ)体制作りについて

職業体験を通じ、小中学生のころから建築士事務所等の業務を知ってもらい、これからの職業選択の中に加えられるようにする。

今年度夏にアンケートを実施させていただき、結果の取り纏めを行った。

☆その他の活動として

- ・木造専門委員会伝統構法部会との共同イベント
- ・日事連 全国大会 話創会への参加、近県青年部との交流
- ・青年世代の意見交換会

まとめ：これからの委員会活動も青年の内側から発せられる意見等を尊重し、今後の設計事務所の立場や展開を考慮しながら活動していきたいと思います。

★ 目的 ★

本会の青年会員(事務所会員または所員・職員、賛助会会員も含む概ね50歳以下を指す。)が発展・継続していくために必要な事項を定め、事業等の検討を行い、本専門委員会の円滑な運営を図ることを目的とする。

委員長 : 森安 啓司(鎌倉支部)	副委員長: 山口 英生(横浜支部)	委員 : 長友 寛昌(川崎支部)
委員 : 菅股 篤(横須賀支部)	委員 : 横山 尊重(藤沢支部)	委員 : 岡崎 秀祐(鎌倉支部)
委員 : 内田 幸夫(伊勢原支部)	委員 : 中山 裕次(愛川支部)	委員 : 寺本 勉(相模原支部)
委員 : 青木 一高(県西支部)		

指導委員会(常設委員会)

○委員会活動について

- ・毎月第2水曜日15時～17時

○苦情相談業務について

- ・毎週水曜日13時半～16時半(委員会メンバー2名1組毎に対応)

○「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」必修研修会について

- ・年2回開催

※次回平成31年3月7日(木)横浜市技能文化会館で開催

○「机の隅に」について

- ・改訂版作成中

○既存住宅状況調査について

- ・講習会の実施
- ・普及活動

○神奈川県弁護士会との連携について

- ・合同相談会・合同協議会への参加

★ 目的 ★

- ・建築士法第27条の5の規定に基づく苦情相談の解決業務
- ・建築関係に関する総合的な相談業務

委員長 : 山口 雄(県西支部)	副委員長: 齋藤 清(平塚支部)	副委員長: 清水 煬二(横浜支部)
委員 : 加藤 文一(横浜支部)	委員 : 五十嵐 摩利(川崎支部)	委員 : 高戸 憲一(横須賀支部)
委員 : 増田 務(横須賀支部)	委員 : 有泉 絵美(横須賀支部)	委員 : 甘粕 博史(藤沢支部)
委員 : 梅澤 典雄(鎌倉支部)	委員 : 葛野 耕司(海老名支部)	委員 : 棕 茂廣(座間支部)
委員 : 吉田 雅幸(相模原支部)	委員 : 加藤 一郎(県西支部)	

◇主な活動内容

月ごとの財政状況の確認
各委員会事業の収支等の確認
理事会上程案件の事前審議
予算案、決算案のとりまとめ
総会、賀詞交歓会の運営 など

◇昨今の取り組み

神事協ポイントカードの廃止

ポイントの付与は平成29年度末をもって廃止(利用は今年度(30年度)限り)
これに代わる制度の導入について今後検討を行っていく。

入会金無料キャンペーンを終了

入会金無料キャンペーンは平成29年度をもって終了した。
今後は、新規開設「建築士事務所」講習会受講者のみの特典とする。
また、特典の有効期間は講習会申込年度と翌年度の2年度以内とする。

会員および支部への還元方法の見直し

31年度より支部交付金の一部について減額等の見直しを行い、
支部負担の軽減や会員サービスの向上に寄与する。

公益目的事業支出計画の遂行

残り2年度となった公益目的事業支出計画を予定通り遂行するべく、
該当事業に係る費用を本会から助成し、
各支部へ支出計画遂行の協力要請を行った。

コンプライアンス講習の実施

昨今の社会的風潮を踏まえ、『ハラスメントの予防』をテーマとした講習を
9/21(金)に理事、監事、支部長を対象に実施した。
また、ハラスメント防止に関する啓発ポスターを入手し、事務局に掲示した。

共済会規程の見直し

給付に『共済会員又は配偶者の出産』を追加した。

★ 目的 ★

諸会議、行事等の企画運営、諸規程の整備、会員の福利厚生、慶弔、各種保険加入の研究運営、事務局の管轄、財務の管理運営、会員の入退会、収支予算、収支決算、会計の管理、経理、賛助会に関する事項及び他の委員会に属さない事項並びに統括委員長会の補佐

委員長 : 三村 邦彦(藤沢支部)	副委員長: 田辺 真一郎(川崎支部)	副委員長: 山本 敏夫(秦野支部)
委員 : 永野 正之(横浜支部)	委員 : 及川 雄介(川崎支部)	委員 : 青木 建(湘南三浦支部)
委員: 瀬川 豊代(茅ヶ崎寒川支部)	委員 : 菅沼 浩一(厚木支部)	委員 : 竹尾 秀一(相模原支部)
委員 : 小林 幸一(県西支部)		

(1) 委員会メンバー 担当

- ・担当副会長 福田 亮一 (鎌倉支部)
- ・委員長 永島 優子 (川崎支部)
- ・副委員長 千賀 浩一 (横浜支部):木造専門委員会担当
- ・副委員長 新村 玲子 (相模原支部):住緑家運営専門委員会担当
- ・副委員長 渡部 雅行 (県西支部):マンション等の大規模修繕業務専門委員会担当

(2) 委員会の開催 (30年度)

5月 8日(火) 7月 12日(月)
9月 10日(月) 11月 9日(金)

(3) 今年度の活動報告

- ・各専門委員会運営状況の確認 ⇒ 担当者の報告を受け、今後の展開を検討する。
- ・業務支援に関する企画 ⇒ 基礎調査アンケートの結果を基に、検討中。
⇒ 本会委員の講師派遣を業務化する企画など。
- ・講師料の規程化 ⇒ 講師謝礼に関する規定を明文化。
- ・HPWGへの参加 ⇒ 神事協HP「建築コンシェルジュ」を担当。制作済み。



★ 目的 ★

建築士事務所の業務及び経営管理に関する調査、研究、技術開発等の業務支援に関する事項
並びに官公庁等からの受託業務に関する事項

委員長 : 永島 優子(川崎支部) 副委員長: 千賀 浩一(横浜支部) 副委員長: 新村 玲子(相模原支部)
副委員長: 渡部 雅行(県西支部)

「住・緑・家」運営専門委員会

委員長： 新村 玲子
副委員長： 渡邊 靖

1. コンペ実施報告

《大豆戸自治会館(横浜市港北区)》

コンペ募集期間： 平成28年08月01日～09月20日
一 次 審 査： 平成28年10月10日
二 次 審 査： 平成28年10月15日
選定設計事務所： 伊藤寛アトリエ(川崎支部)
工 事 期 間： 平成29年10月～平成30年03月
竣工見学会実施： 平成30年04月07日



《F様邸(横浜市鶴見区)》

コンペ募集期間： 平成28年10月03日～11月25日
一 次 審 査： 平成28年12月10日
二 次 審 査： 平成28年12月17日
選定設計事務所： 株式会社ナカオアトエ(川崎支部)
工 事 期 間： 平成30年02月～平成30年08月
竣工見学会実施： 平成30年09月01日



2. 今後の展望

- ◎ 案件の獲得へ向けた営業活動
⇒自治会そのものへ戦略的な営業活動を行い、新規案件の獲得を地道に目指す。
- ◎ 過去に住・緑・家で自治会館を建てた自治会館様は住・緑・家への理解も深く、そのメリットをよく把握されている。
⇒フォローアップの意味でも再び自治会館様を訪問し、お知り合いの他自治会館様等への住・緑・家紹介を依頼する。
- ◎ 実働部隊となり得る委員を広く募集し、組織力の強化を目指す。

★ 目的 ★

- ◎建築士法に基づく法定団体によるコンペシステムを広く神奈川県民へ周知し、良質な建築物の供給を行う。
- ◎継続的にコンペを開催することにより、神事協正会員のモチベーションを上げる。
- ◎業務受注の機会を創出することにより、事務所経営健全化の一助とする。

委員長: 新村 玲子(相模原支部)	副委員長: 渡邊 靖(横浜支部)	委員: 梅澤 裕(横浜支部)
委員: 三村 邦彦(藤沢支部)	委員: 杉浦 滋(藤沢支部)	委員: 山本 博司(伊勢原支部)
委員: 小幡 剛志(大和綾瀬支部)	委員: 長谷川 匡(県西支部)	委員: 徳家 明美(県西支部)

【木造専門委員会】

(1) 委員会メンバー 担当

- ・担当副会長 福田 亮一 (鎌倉支部)
- ・委員長 永島 優子 (川崎支部)
- ・副委員長 千賀 浩一 (横浜支部):大型耐火木造部会長
- ・委員 山中 信悟 (鎌倉支部):伝統構法部会長
- ・委員 寺坂 良明 (横須賀支部):木造技術部会長

(2) 委員会の開催 (30年度) ※正副部会長会議

6月 6日(水) 7月 13日(金)

9月 13日(木) 10月12日(金)

(3) 今年度の活動報告

○伝統構法部会

「限界耐力計算講習会」3回シリーズの開催 6/27・8/22・10/24

○木造技術部会

「新耐震木造住宅検証法講習会」の開催 9/15

○大型耐火木造部会

「木造耐火建築物 森が丘幼稚園見学会および設計者による講習会」 12/8



講習会実施状況



森が丘幼稚園外観写真

★ 目的 ★

木造建築物に関する調査、研究、技術開発等の業務支援に関する事項

委員長 : 永島 優子(川崎支部)	副委員長: 千賀 浩一(横浜支部)
委員 : 山中 信悟(鎌倉支部)	委員 : 寺坂 良明(横須賀支部)

<マンション等の大規模修繕業務専門委員会>

1 委員会開催及び議題内容(平成30年4月～12月):5回

- ・理事会報告
- ・マンション改修相談報告
- ・管理組合からのコンサルタント紹介依頼に対し、登録事務所への公募作業
- ・年2回開催するマンション講習会・見学会の企画検討
- ・その他マンション改修に関する情報交換

2 マンション改修相談の実施 コンサルタント事務所の公募作業

- ・相談件数 9 件
- ・コンサルタント募集 4 件

3 講習会・見学会の実施

①「マンション省エネ改修および補助金活用セミナー」講習会

内容: マンションにおける省エネ改修に関しての補助金活用方法と省エネ改修提案について

日時: 平成30年8月1日(水) 13:30～16:40

会場: 日本丸訓練センター 第1,2教室

参加者: 36名

②「川崎市マンション工事見学会～ピンネット工法による外壁改修・塗材アスベスト対処～」

内容: 建物概要、設計および工事概要、工法、
使用材料等の説明及び塗材アスベスト対処

日時: 平成30年10月11日(木) 13:30～17:00

会場: 川崎市白幡台住宅

参加者: 61名



★ 目的 ★

マンション管理組合等の相談(大規模修繕、長期修繕計画等)に対応する。
この業務に必要な知識を得るための研修を行い、登録事務所のスキルアップを図る。
この業務に関連した賛助会との連携を図り、ビジネスモデルを構築する。

委員長 : 鈴木 與(川崎支部)	副委員長: 粕谷 秀樹(鎌倉支部)	副委員長: 矢澤 正明(鎌倉支部)
委員 : 佐藤 恵(横浜支部)	委員 : 島村 利彦(横須賀支部)	委員 : 前砂 雅弘(鎌倉支部)
委員 : 丸山 浩(平塚支部)	委員 : 松井 正(県西支部)	

企画委員会(常設委員会)

●活動内容・目的

- ・企画委員会及び属する専門委員会を含めて主催講習会の企画運営。
- ・企画委員会に属する専門委員会の活動内容の調整。
- ・JAAF-MST及び三会建築士CPD会議の対応。
- ・バス見学会の企画。

＜企画委員会開催＞

h30.1.25、h30.3.15、h30.5.7、h30.7.2、h30.9.10、h30.11.12、h30.12.10

＜JAAF-MST紹介で入会促進＞

h30.5.23、h30.8.28：新規開設者講習交流会にて紹介、講習会参加者は神事協入会メリットとして、無料でJAAFMSTを使えることを簡単に紹介したことが大変好評で、もっと詳しく説明して欲しいとのご意見を頂きました。

＜建築基準法改正講習会の開催＞

h30.6.20(横浜開催)、h30.7.3(相模原開催)

神奈川県建築指導課および賛助会会員の指定確認検査機関4社に講師ご協力をいただき開催しました。法施行されない中での開催でしたが、スピードが重要と判断し、多岐にわたる改正法案を手探りで講習しました。多くの会員外参加者もあり、図解の多い国の資料をカラー配布したことも大変好評を得ました。

＜特定建築物定期調査業務・防火設備定期検査業務DVD講習会の開催＞

日事連要請により(一財)日本建築防災協会の講習DVDを用いて開催しました。

●特定建築物定期調査業務 開催日：h30.11.6、h30.11.15

32名参加で予算を立てましたが、大幅に上回る44名のご参加を頂きました。

●防火設備定期検査業務 開催日：h30.10.31、h30.11.7

32名参加で予算を立てましたが、大幅に上回る45名のご参加を頂きました。

＜バス見学会の開催＞

7月に会員向けに見学会開催テーマの投票アンケートを実施しました。

委員会で設定したテーマは以下の3つ。昨年の神事協アンケート調査結果を踏まえたテーマも設定しました。

①住民参加型建築DIY ～小さいものからおおきなものまで～

②CLTや話題の建築 ～技術革新を反映させた建築～

③有名建築家シリーズ ～住宅から公共施設まで～

結果、23名の方からご回答いただき、②のテーマに決定しました。

まだご紹介できませんが、現在見学場所の決定を急いでおります。

いま話題の都内の木造大規模運動施設などを見れるかもしれません！

平成31年3月1日に開催予定、毎回瞬殺で満員となる人気企画です。

乞うご期待!!

★ 目的 ★

建築士事務所の資質の向上に関する企画、調査研究及び研修会の実施(建築士事務所の開設者に対する業務の運営に関する研修及び建築士事務所に所属する建築士に対する設計等の業務に関する研修を含む)に関する事項、及び事務所協会の発展を目的とする各種事業の検討・推進に関する事項、並びに官公庁等からの受託業務の検討に関する事項

委員長：山口 英生(横浜支部)

副委員長：稲毛 恒男(横浜支部)

副委員長：中村 輝守(横須賀支部)

副委員長：磯 昭弘(湘南三浦支部)

委員：岩田 崇(川崎支部)

委員：矢野 高(秦野支部)

委員：伊藤 耕人(座間支部)

委員：鈴木 章一郎(相模原支部)

委員：竹縄 光生(県西支部)

委員：石渡 規由(湘南三浦支部)

委員：菅原 浩太(鎌倉支部)

委員：當木 裕之(横浜支部)

企画委員会(常設委員会)
(専門委員会・未来に繋げる事業専門委員会)
1) 未来に繋げる事業専門委員会
●活動内容・目的
・会員増強のための新事業を企画、および中長期の目標設定をし、総財務委員会へ提案。
・協会HPの新コンテンツを企画立案し、広報情報委員会へ提案。
・支部・ブロック活性化の新事業及び講習会等を企画し、ブロック支部委員会へ提案。
・その他、神事協の組織強化に係わる提言等。
<専門委員会開催>
h30.2.23、h30.3.29、h30.5.16、h30.8.6、h30.10.16、h30.11.28
<ホームページWGの開催>
6/1にホームページ鑑ページ変更、さらに新内容を検討中。
<第1回神事協アンケートの集計発表>
6/1中間発表会にて「未来に繋ぐ」視点で結果発表
<平成31年度神事協組織の改編検討>
<平成31年神事協クラブ同好会の設立検討>

★ 目的 ★
一般社団法人神奈川県建築士事務所協会が発展・継続していくために必要な中長期に渡る事業等の検討、各常設委員会および理事会への提案
委員長 : 山口 英生(横浜支部) 副委員長: 岩田 崇(川崎支部)
委員 : 鈴木 武昭(横浜支部) 委員 : 永島 優子(川崎支部) 委員 : 小山美智恵(横須賀支部)
委員 : 青木 建(湘南三浦支部) 委員 : 宮寺 透雄(湘南三浦支部) 委員 : 近藤 敦司(藤沢支部)
委員 : 杉本 勝郎(相模原支部) 委員 : 小林 幸一(県西支部)

2) 技術専門委員会(低炭素技術部会・設計新技術部会・補助金活用技術部会)
●活動内容・目的
・最新の設計技術、省エネ技術の調査研究および講習会の企画運営。
・建築技術の改善向上と共に建築士事務所の設計監理業務の技術向上等を行う。
・建築士事務所の営業力向上と共に会員事務所を支援するシステム構築、運営を行う。

別紙参照

★ 目的 ★
建築士事務所の業務等に関する調査、研究、技術開発、業務の支援及び会員の専門的知識の向上を図る
委員長 : 稲毛 恒男(横浜支部) 副委員長: 中村 輝守(横須賀支部) 委員 : 横山 尊重(藤沢支部)
委員 : 伊藤 耕人(座間支部) 委員 : 鈴木章一郎(相模原支部) 委員 : 當木 裕之(横浜支部)
委員 : 石渡 規由(湘南三浦支部) 委員 : 菅原 浩太(鎌倉支部) 委員 : 竹縄 光生(県西支部)

3) 応急仮設住宅等検討専門委員会
●活動内容・目的
・応急仮設住宅配置計画例などの受託事業遂行のために必要な活動。
・神奈川県災害協定4団体との連携に係わる活動。
・行政向け講習会の企画運営、応急仮設住宅の調査研究および提案。
・支部事業の受託に係わる諸問題の調査研究および事業手法の提案。

別紙参照

★ 目的 ★
応急仮設住宅配置計画例などの受託事業遂行のために必要な活動、神奈川県災害協定4団体との連携に係わる活動、行政向け講習会の企画運営、応急仮設住宅の調査研究および提案、支部事業の受託に係わる諸問題の調査研究および事業手法の提案
委員長:磯 昭弘(湘南三浦支部) 副委員長: 早川 慶太(藤沢支部)
委員 : 小渡 佳代子(横浜支部) 委員 : 藤井 伸介(横浜支部) 委員 : 米村 和夫(藤沢支部)
委員 : 高野 淳一(鎌倉支部) 委員 : 大西 智子(平塚支部) 委員 : 矢野 高(秦野支部)

企画委員会(常設委員会)

(技術専門委員会)

- ・平成30年1月29日 三菱電機住環境研究開発センターにて
大船スマートハウス(エネディアハウス)を見学会を実施 委員他計11名の参加
HEMSで制御される、太陽光／太陽熱・自然風利用システム、高効率住宅設備／家電機器
(給湯機、温水床暖房、LED 照明等)、電気自動車、蓄電池など、
最新の自然エネルギー活用機器と高効率住宅設備・家電機器との連動の実用を体験。
- ・平成30年5月7日 神事協会議室にて
BELS制度ZEH・補助金事業説明会を実施 委員他計13名の参加
BELS制度ZEH支援事業のポイント、ITを活用した申請図書作成の手法、太陽光・
エアコン・エコキュート・換気設備・HEMSについての説明、樹脂窓の特性、
高断熱スクリーンなどについての説明会
- ・各支部へBELS説明会の案内を配布し、
平成30年7月12日 湘南ブロックにて 同説明会を開催 会員外含め計22名の参加



BELS説明会風景

- ・平成30年11月12日 福井コンピューター(株)によるBIM勉強会を実施
(合計4回開催の第1回目) 委員他26名+賛助会オブザーバー3名=計29名参加
BIMの概要、2D-CAD設計とBIM設計の違い、国内におけるBIMの動向、BIM活用で変わる
建築設計の将来像、実際にVR画面の体験など



BIM勉強会風景



VR体験風景

- ・今後は、同様のBIM勉強会を平成30年12月14日、平成31年2月20日、3月6日
福井コンピューター(株)・グラフィソフトジャパン(株)を講師に迎え開催予定。
- <技術専門委員会から会員へアピールしたい点>
- ・最新の技術を学ぶことで、各事務所のスキルアップに繋がるのと同時に、営業力の向上
に繋がるので、ぜひ会員事務所に積極的に参加してほしい。
 - また、事務所協会の会員増強に繋げる為にも各支部・ブロック単位でのこういった
講習会・勉強会の利活用をするのと同時に、賛助会会員のノウハウを活かした新たな
テーマでの時代に合った、時代の先を見据えた企画に対する意見を求めたい。

企画委員会(常設委員会)

(応急仮設住宅等検討専門委員会)

＜専門委員会開催＞

h30.6.15、h30.7.30、h30.8.23、h30.9.27、h30.10.25、h30.11.22

＜9/5神奈川県担当者および神奈川県災害協定4団体を交えた意見交換会開催＞

参加団体

神奈川県・(一社)プレハブ建築協会・(一社)全国木造建設事業協会

(一社)日本木造住宅産業協会神奈川支部・

(一社)神奈川県建築士事務所協会

オブザーバ

川崎市・相模原市

＜11/29平成30年度神奈川県地域住宅協議会第2回災害時住宅対策検討部会第二部における訓練を企画運営＞

参加自治体および関連団体

横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、藤沢市、小田原市、

茅ヶ崎市、三浦市、秦野市、大和市、綾瀬市、葉山町、大井町、開成町、

愛川町、神奈川県、(一社)プレハブ建築協会、

(一社)全国木造建設事業協会、(一社)日本木造住宅産業協会神奈川支部、

(一社)神奈川県建設業協会、(一社)神奈川県建築士会、

(一社)神奈川県建築士事務所協会 (上記より46名参加)

第二部 訓練内容

「コミュニティの形成」に配慮した配置計画を実現するための設計手法等について、配置計画の作成に係る机上訓練を行う。

具体的には行政地区(横浜川崎・横須賀三浦・県央・湘南・県西)ごとに訓練用候補地を選定して、応急仮設住宅等検討専門委員会委員が作成した「『コミュニティの形成』に配慮した配置計画の考え方」に基づき、当該候補地における配置計画の作成シミュレーションを行う。

訓練風景

行政地区ごとの訓練用候補地において当委員会委員が事前に神奈川県応急仮設住宅供給マニュアルに基づいて作成した配置計画案と周辺エリアを把握するため航空写真を参考に配置計画訓練を行う。



企画委員会(常設委員会)

(応急仮設住宅等検討専門委員会)

訓練における結果発表

主に現行マニュアルに基づいた配置計画例と「『コミュニティの形成』に配慮した配置計画の考え方」に基づき作成した配置計画例において主に入居戸数の変化等について検証。

川崎横浜(川崎市)



現行マニュアルによる戸数 57戸
コミュニティの形成に配慮した戸数 57戸

県央(相模原市)



現行マニュアルによる戸数 52戸
コミュニティの形成に配慮した戸数 80戸

横須賀三浦(三浦市)



現行マニュアルによる戸数 103戸
コミュニティの形成に配慮した戸数 105戸

湘南(藤沢市)



現行マニュアルによる戸数 119戸
コミュニティの形成に配慮した戸数 104戸

県西



現行マニュアルによる戸数 200戸
コミュニティの形成に配慮した戸数 136戸

結果考察

事前に作成した現行マニュアルに基づいた配置計画は入居戸数を最大限に考慮した計画とし、当訓練では住棟配置に配慮し空地などを設けコミュニティ形成に配慮した計画を作成した。例外はあるが概ね戸数に大きな違いがないがこの訓練で得られ、限られた時間ではあるが検討を進めるに値する結果が出ました。また、候補地の自治体担当者から得られる地域情報も大変参考になり今後は今まで以上に意見交換が必要であると認識した。

当委員会の今年度活動予定

当委員会の活動は委託業務仕様書に基づいた活動であるため、今後は当報告書にある活動結果をもとに成果物を納期内にまとめ委託業務を完了させることになります。

【建築物耐震改修評価特別委員会】

・活動内容

- 1) 建築物の耐震改修評価
- 2) 耐震改修工事及び耐震改修建物の見学会
- 3) 耐震セミナーの開催
- 4) 耐震に関する助成制度についての説明

・目的

- 1) 耐震改修促進法等に示す耐震計画の判断のための適正な評価を図る。
- 2) 適正な評価をもって社会に寄与することを目的とする。

・成果

- 1) 今年度の評価予定件数6棟
4棟

・会員へのアピール

- 1) 2017年にRC造の耐震診断基準が改定。
神奈川県のある施設の耐震診断及び耐震改修設計に、上記基準が適用されている。

【非木造専門委員会】

・会議 12/11 開催

- ・(仮称)意匠設計者のための既存建物改修に伴う構造計画勉強会 を実施予定。

■評価特別専門員会

★ 目的 ★ 耐震改修促進法等に示す耐震計画の判断のための適正な評価を図り、もって社会に寄与する。		
専門員長: 叶野 聡(川崎支部)	班 長 : 吉川 謙司(川崎支部)	班 長 : 平山 元英(藤沢支部)
班 長 : 小松 正道(海老名支部)	専門員 : 矢野 武(横浜支部)	専門員 : 古室 大悟(横浜支部)
専門員 : 唐戸 弘樹(横浜支部)	専門員 : 吉岡 順一 (茅ヶ崎寒川支部)	

■非木造専門委員会

★ 目的 ★ 本会の会員が行う木造以外の建築物全般に関する業務及びこれに準ずる業務(耐震診断 業務等も含む)(以下「非木造建築物業務等」という。)についての技術指導および調査、研究、 会員の専門技術向上を図ることを目的とする。		
委員長 : 古室 大悟(横浜支部)	副委員長: 後藤 俊三(川崎支部)	副委員長: 小松 正道(海老名支部)
委員 : 池谷 透(横浜支部)	委員 : 會澤 正志(鎌倉支部)	委員 : 山上 幸司(相模原支部)



一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会